

長野県産業人材育成プラン3.0（第12次長野県職業能力開発計画） 策定に向けてご審議いただきたいこと

1 社会環境の変化を踏まえた今後の人材育成促進方策

人口減少、労働供給制約社会に立ち向かうため、職業能力開発をどう変えていくべきか

(想定の視点)

- **人的資本経営の促進**
社会環境の変化が激しい中、企業が抱える課題に対して、どのような人材育成を促進する方策が求められるか。
- **デジタル技術の進展等による変化への対応**
技術革新がもたらす変化やデジタル・AIがもたらす変革にどのような人材育成の支援が必要か。
- **キャリア形成支援**
ライフステージが長期化する中で、キャリアプランへの不安や働き方の変化のために、どのようなキャリア形成支援が必要か。また、求められるリカレント・リスキリング教育とは。
- **多様な人材の活躍支援**
シニア、女性、障がい者、外国人が働きやすい社会とするために企業又は従業員に求められることは。どのような支援が必要か。
- **技能者育成・キャリア教育**
技能者の育成やスキルアップ、地域の担い手育成（キャリア教育）にはどのような方策が必要か。

-31-

2 人材育成における県の役割・責務

県内では各関係主体において職業訓練を実施しているが、若年人口の減少や人材不足が見込まれる中で、企業や地域のニーズに応える人材の育成をどのように連携・役割分担しながら効果的かつ効率的に維持・発展させていくか。